

農地等利用最適化推進施策
に関する意見書

令和6年11月

相馬市農業委員会

農地等利用最適化推進施策に関する意見書

本市の農業振興には、日頃から積極的に取り組まれるとともに、当農業委員会の活動につきましても、格別なるご理解とご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、農業をめぐる国内情勢は、昨今の不安定な国際情勢による、肥料、飼料、燃油などの生産資材価格の高騰が続き、国内農業へ深刻な影響を与えております。

また、本市の農業・農村を取り巻く状況も、国内情勢に加え、依然として農業者の高齢化や後継者・新規就農者の不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣による農作物への被害の拡大等、厳しさが増しております。

当農業委員会としても、農地等の利用の最適化の推進に関する指針を定め、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、「農地利用の集積・集約化」「遊休農地の発生防止・解消」「新規参入の促進」を図るために活動しておりますが、農業者の自助努力だけでは解決できない課題も山積しており、農地を保全し、地域の農業を守るため、市においても、引き続き積極的な施策や支援を講じる必要があると考えます。

つきましては、本市農業の発展と農地等の利用の最適化を推進するため、以下の事項を市政に反映するとともに、国・県等関係機関へ働きかけを行っていただきますよう、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定により意見書を提出いたします。

令和6年11月18日

相馬市長 立谷 秀清 様

相馬市農業委員会
会長 前川 正人

1 農業・農村の維持に対する支援策

農業者の高齢化、後継者不足がさらに深刻さを増し、担い手を確保することが困難な地域が増加しています。さらに、イノシシによる被害のほか、サルの出没範囲が拡大し、被害が増えています。営農を継続するため、早急な支援策が求められています。

① 有害鳥獣被害対策支援策の見直し

電気柵を使用した有害鳥獣被害対策の効果は限定的であり、十分な被害防止が困難になっております。さらに、イノシシによる被害のほか、サルの出没範囲が拡大し、被害が増えています。現在の市の支援策について、見直しを行い、被害の実情にあった支援策を講じていただきたい。

② そうま移住定住窓口との連携強化

市外から、農業に従事する方を呼び込むため、農地や住居等の物件情報、各種支援施策の紹介等、提供情報の充実や情報発信の強化を実施していただきたい。

2 農業経営の安定化に対する支援策

市内農業の主力作物である米の価格は回復傾向となっております。しかしながら、依然として、肥料、飼料、燃油などの生産資材価格の高騰が続いているため、農業経営に深刻な影響を与えております。営農を継続するための支援策が求められています。

① 農業用生産資材等高騰に対する支援策

現在も、肥料、飼料、燃油などの生産資材価格の高騰が続いているため、農業者の経営努力では対応できない状況です。農家の経営安定化のための支援策を講じていただきたい。

② みどりの食料システム戦略の推進

福島県と共同で策定した「福島県みどりの食料システム基本計画」に基づき、市として、地域農業を持続的に発展させるための取り組みを推進していただきたい。

③新規就農者育成総合対策の拡充

国は、新規就農者の経営を安定化させるため、新規就農者育成総合対策を実施していますが、生産資材等の高騰により、新規就農者の経営は厳しい状況となっております。新規就農者育成総合対策の拡充について、国へ働きかけを実施していただきたい。

3 農業振興地域計画の見直しの検討

中山間地域では、農地の借り手が見つからず、耕作放棄地が増えています。

①農業振興地域計画の見直しの検討

土地の有効利用を図るため、今後も耕作が困難な地域については、早期に計画の見直しを検討していただきたい。